学校番号	1205

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『わたしたちの地理総合　世界から日本へ』（二宮書店） 『詳解現代地図　最新版』（二宮書店）						
副教材等	担当者作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業プリントの整理や提出をしっかりしてください。
・授業では、さまざまな地図の活用、観察や調査、統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理を行います。積極的に授業に参加してください。
・諸資料の地理情報化や地図化などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察します。その過程で、自分の考えを発表したり、話し合ったりする活動も行います。

2　学習の到達目標

a. 地理に関わる情報を読み取り、文化の多様性や地理的課題を理解する。
b. 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地理的課題の解決への思考・判断・表現力を身につける。
c. グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。 技能：地図や地理情報システムなどを用い、調査を行い、諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、資料などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　地図とGISの活用	1節　地理情報と地図 2節　国家の領域と領土問題 3節　国内や国家間の結びつき 4節　日常生活のさまざまな地図	a:地球を球面として捉え、時差の仕組みや、日本の位置と領域、領土問題について理解している。また、外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して、日本と諸外国との関係を理解している。 b:時差のしくみをふまえ、時差を示す世界地図を適切に活用することができる。また、外国に暮らす日本人や外国人観光客の実例を通して、社会への影響や今後の発展について分析・考察し、まとめようとしている。 c:作業などに意欲的に取り組もうとしている。また、外国に暮らす日本人や外国人観光客の実例を通して、社会への影響や今後の発展について分析・考察し、まとめようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート
2学期	2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化 2節 産業の発展と生活文化 3節 言語・宗教と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化	a:地形や気候に関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取り、世界の諸地域の多様性について理解している。 b:地形や気候のなりたちとその成因と分布の特徴を世界的視野から考察し、そのような自然環境が世界の産業や言語文化や宗教についてどのような影響を与えたか考察している。 c:世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート

	3章　地球的課題と国際協力期	1節 人口･食料問題 2節 居住･都市問題 3節 資源･エネルギー問題 4節　地球環境問題	a: 世界人口の急増や停滞によって生じる問題や、それに関わるエネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給について理解できる。また、地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できる。 b:世界の人口問題の特徴や分布を、人口ピラミッドや主題図などの資料から比較･分類しながら整理し、考察できる。 また、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、持続可能な発展を実現するための課題解決について考察している。 c: 人口に関わる世界の諸問題について、その背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート
3学期	4章　生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災 2節 持続可能な地域づくり	a:自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて、新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 b:日本列島における自然災害の要因と特徴、地域性を考察し、課題の所在について考察できる。 b:事前調査や現地調査で明らかになった地域の魅力や課題を踏まえ、地域のあり方を分析・考察し、身近な地域の将来像を構想できる。 c:日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心をもち、防災意識を高めることができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度